

# 「元気と活気あふれる 住みやすい安芸市」創り



6月11日に開会された第2回安芸市議会定例会で、松本市長は次のように行政報告を行いました。(抜粋)

## 安芸市議会定例会 行政報告要旨

### 高速道路整備

3月31日に高知南国道路を含む18路線の事業予算の一時凍結が発表されました。これを受け、早期の凍結解除を求め、これまで高知県知事をはじめ、県東部の高知県議会議員や期成同盟会等が要望活動を実施してきました。市議会においても、四国地方整備局、土佐国道事務所へ即時、凍結解除に向けた要望活動を実施していただきました。私も、強い危機感を持ち、県東部の市町村長とともに、4月3日には四国整備局長に、7日には加納国土交通副大臣に、5月12日には金子国土交通大臣に、「費用対効果だけの判断では納得できない。命の道、経済活性化の観点といった地域の実情を反映した評価を行い、早期に工事再開を」と訴えてきました。

全国各地方からの「一日も早く凍結解除してほしい」との強い声もあり、金子国土交通大臣が6月にも各地方整備局で「事業評価監視委員会」が開かれました。6月8日には、地域の意見を届けるべく民間団体の方々が尾崎知事とともに県東部の住民1万4,164名の署名付きの請願書を四

国地方整備局長にとどけ、民意を訴えました。高知南国道路は、「高知県東西交通の結節道」であり、「命の道」です。この道の完成がなければ、県東部の未来や四国東南地域の阿南安芸自動車道の整備促進にも暗雲が立ちこめます。今後、安芸市と県東部の発展のために高速道路の整備促進に取り組めます。

7月7日 金子国土交通大臣は県内2路線を含む、9県14路線について凍結の解除を発表。6月に開かれた事業評価委員会で、従来の3便益（走行時間短縮、走行距離短縮、交通事故減少）だけでの評価を見直し、「命の道」としての効果などが評価されました。



大河ドラマ「龍馬伝」土佐・龍馬  
来月1月16日から開催する「土佐・龍馬であい博」の期間中、高知県内では、高知駅南にメイン会場を、

サテライト会場を土佐清水市、梶原町、そして本市へ設置が決まっています。5月には、サテライト会場となる旧物産センターを、製作会社のNHKエンタープライズの一行が調査を行いました。また、観光標識、道路整備などハード面の整備も含めまして、庁内に横断的な調整会議を設置しており、定期的に課題や進捗状況について協議を行い、受け入れ体制の準備を進めます。



「はばたけ弥太郎・龍馬伝」安芸市推進委員会では、定期的に委員会や部会を開催していただき、委員の皆さまに積極的な取り組みを進めていただいております。5月には、岩崎弥太郎生家で、ボランティアガイドの会、安芸高校の生徒に観光ガイドをしていただき、井ノ口婦人会には、「井ノ口弥太郎まつり」と銘打って、自主的にお茶の接待や会場商品の販売を行っていたた

きました。また、岩崎弥太郎・坂本龍馬にちなんだオリジナルソングを作り、音楽を通じて安芸市を元気にしていこうとする取り組みなど「龍馬伝」の放送開始に向け、地元住民の皆様への機運が段々と高まっていることに心からお礼を申し上げます。この機運をもっと高める取り組みを行います。

### 協働の森

本年2月の三菱商事に引き続き、5月15日に東京海上日動火災と「協働の森づくり事業」のパートナーズ協定を締結しました。協定森林は、島及び入河内地区の市有林21ヶ所と森林組合所有林23ヶ所をあわせて44ヶ所、東京海上日動火災の協賛金は、500万円の協賛金により、5年間にわたる森林保全活動と間伐ツアーなど交流事業に取り組みます。今回の協定締結は「協働の森づくり事業」で3件目、森林保全協定の2件と合わせて、安芸市の森林面積の約32%に当たる892.4ヶ所、市有林では24ヶ所に当たる90ヶ所、協賛金は2,550万円となっています。

今後は、森林保全活動と合わせて三菱グループなど環境先進企業との地球高温暖化防止対策の強化や三菱関係者との交流促進に積極的に取り組めます。

### たつの市姉妹都市 提携20周年

5月24日に予定しておりました記念式典および祝賀会については、関西圏での新型インフルエンザの感染拡大のおそれから延期となりましたが、同日行いました元NHK歌のお姉さん「はいだしょうこ」さんをゲストに迎えた「童謡の里安芸 はいだしょうこファミリーコンサート」は、午前・午

\*延期しました、姉妹都市交流20周年記念式典は、11月15日(日)に開催いたします。



### 定額給付金

交付状況については、5月26日現在、対象世帯数8,950世帯に対して、申請者数は8,454世帯であり、全体の94.5%を受け付けています。そのうち、8,273世帯に3億5万6千円の口座振り込みを、51世帯に120万円の給付を完了しています。また、多子世帯における幼児教育期の経済負担に配慮する観点から実施しています「子育て応援特別手当」の交付状況は、5月26日現在、対象世帯数204世帯に対し、申請者数は195世帯で、全体の95.6%を受け付けています。そのうち、185世帯に712万8千円の口座振り込みを完了しています。

\*7月10日申請者数8,697世帯のうち、8,658世帯(96.74%)が完了しています。

これらの現金給付については、本町商店街振興組合によるプレミアム付き商品券が完売になるなど、生活支援・地域経済の活性化に効果があったものと考えています。今後は、まだ申請が済んでいない世帯についても周知を行い、もれない支給に努めます。

### あま AMA地域連携 推進協議会

昨年11月に安芸市と室戸市、徳島県阿南市の3市の商工会議所・観光協会を含めた「AMA(あま)地域連携推進協議会」を設立しました。

昨年度は、AMA地域の観光情報を全国的に発信するため、地域総合整備財団から助成金をいただきホームページを整備するとともに、観光パンフレットやポスターを作成しました。また、各市の市民祭などの催しにお互い参加し、3市の交流を深めました。今後は、昨年実施した観光情報の提供や交流事業をさらに充実させるとともに、NHK大河ドラマ「龍馬伝」

▲去年は阿南市から岩浅市長も駆け付け本物の阿波踊りを披露してくれました



を大きなチャンスと捉え、AMA地域への観光客の誘致を促すために、モニターツアーの実施や京阪神などでの観光キャンペーンに取り組んでいます。

今年のAMA地域推進事業は、7月19日に室戸市で開催された「ふるさと室戸まつり」で「東陣」チームが、7月25日に阿南市で開催された「阿南の夏まつり」では「商工会議所 舞人」チームが、よさこい踊りを披露し祭りを盛り上げました。

### 保健・医療

特定健康診査の受診率向上の取り組みについては、国が示す24年度の目標値65%を達成するために、今年度から個別に病院で健診を受けられるように個別健診を実施します。また、日ごろから健康づくりの取り組みにご協力いただいている各種団体を構成員とした元気なあまを推進する中心に「公民館を単位とした主体的な健康づくり活動」を推進し、「地域の健康度の底上げを図る新しい仕組みづくり」を進めていく準備を行っており、現在、国に対して国保ヘルスアップ事業の先駆的・モデル的申請の申請を行っています。



▲いきいき百歳体操を市内20地区で行い、約320人が参加し健康増進に取り組んでいます